

(様式 2)

管外調査、研修、要請陳情、各種会議結果（報告）

舞鶴市議会議長 あて

令和元年 8月 22日

会派代表者氏名 小杉 悦子

このたび、調査、研修、要請陳情、各種会議をしましたので、下記のとおり報告します。

記

- 1 参加者氏名 小杉悦子、石束悦子、伊田悦子、小西洋一
- 2 調査・研修地 京都府綾部市
- 3 日 時 令和元年 8月 1日
- 4 経 費 ￥0
- 5 結果の概要
 - ① 面会者・研修講師名
綾部市教育委員会事務局部長、綾部市境域委員会教育部学校教育課課長
綾部中学校校長、綾部中学校栄養士
 - ② 調査、研修、要請陳情、各種会議先内容 … 別紙にて次の事項を記載
 - ア 事業目的、事業の概要、経費・財源、効果など
 - イ 研修、要請陳情、各種会議内容
 - ウ 所感

日本共産党議員団 視察報告書

ア 事業の概要

「自校調

理方式による中学校給食の実施について」

イ 研修内容

①中学校給食における自校調理方式の導入の経過

昭和28年の水害被害を受け、給食室整備の検討が始まる。

綾部ではすでに、6中学校のうち、綾部中学校、八田中学校を除くすべての中学校が自校調理方式の給食。

平成18年 学校が荒れる。

議会で綾部中学校で給食が実施できないかと議論が始まる。

平成19年

平成22年 給食の実施について綾部中学校・八田中学校でアンケート実施。

平成26年 (子ども・保護者からは弁当の方がよいとの意見も多くあった。)

- ・この頃から学校も落ち着き、そろそろ子育て支援の観点から実施してはどうかという質問も議会でも出される
- ・給食センターを建てるという案も出されたが、2箇所必要となり、予算的にはむずかしい。
- ・親子方式も模索したがそれも困難。

センター方式が一番お金がかからないと思うが、土地から探さなければならなかった。結局場所がなかった。

②授業時間と給食時間の配分

12時45分に4時間目終了。

15分間で準備。

13時に「いただきます。」

(給食時間は15分間)

13時15分に「ごちそうさま。」

1 3時28分までに返却をすませる。

1 4時からそうじがはじまる。

(一応決まっているが、クラスによっては多少のずれはある。)

※最終的には部活の時間が短くなっている。

③給食室の場所について

(①による経過から)

綾部中学校は倉庫を利用した。

八田中学校は駐車場に調理室を建てた。



④実施に係る予算がつくまでの経過

実際の給食室設置にかかった費用

綾部中学校 1億4000万円

八田中学校 8000万円



⑤現状における課題と今後の方向性について

(除去食等・アレルギー対策の実施)

除去食はしておらず、弁当対応としている。

現在、2名の生徒が弁当持参。

自分で除去をしている生徒もいる。

綾部中学校調理

⑥給食に対する生徒や保護者の反応について

- ・保護者からは、「クラブの朝練などで早く弁当をつくっていたが、それがなくなると楽になった」という反応があった
- ・何よりも生徒が落ち着いてきた。

